

〈研究ノート〉

女子青年における理想の結婚相手に関する調査

宇田川瑞季*、平馬彩夏*、森野むつみ*、
岡部聖**、酒元日菜子**、澤井玲奈**、白倉実奈**、渡邊野々花**
井上信子***

A survey on ideal marriage partner of young woman.

Mizuki Udagawa, Ayaka Hirama, Mutsumi Morino,
Sato Okabe, Hinako Sakamoto, Reina Sawai, Mina Shirakura, Nonoka Watanabe,
Nobuko Inoue

1. 問題と目的

筆者らが受講している「フィールドワーク実践演習Ⅱ」の授業内で調査を行うにあたり、自分たちに身近な関心事として「結婚」というテーマを設定した。大学生と比べて「結婚」に対するイメージがまだ抽象的な時期である高校生、また、教育理念や校風の異なる3校に焦点を当てることで、調査結果に違いが出るのではないかと考え、調査対象を決定した。

本調査では、女子高校生を対象として理想の結婚相手についての条件を明らかにし、3校それぞれの教育理念や校風を踏まえ、理想とする結婚相手の条件に違いを明らかにすることを目的とする。

2. 調査

対象：東京都内にあるT高校・O高校、神奈川県内のN高校の女子高校3校で高校1年生を対象とした。T高校40名、O高校35名、N高校47名の計122名。うち、有効回答数111名(91%)。女子高校3校を調査協力者としたのは、次の理由から

である。T高校は、生徒の進路目的に合わせて3つのコースに分かれており、生徒の進路選択に合わせた教育や創造性教育を行っている。そのため、「幅広い将来性」の視点があると考えられる。O高校は、「良妻賢母」の教育を掲げ、「家庭を築き、社会と世界に貢献できる知性と品位を備えた美しい女性」の育成を目指している。そのため、「家庭を持つこと」「自立と社会進出」の2つの視点があると判断したからである。N高校は、人格教育を基本とし、時代に先駆けた女性リーダーを多く輩出している。そのため、女性の「リーダー性」の視点があると判断したからである。3校のそれぞれの校風や教育理念、実績から、理想とする結婚相手の条件に違いがあるのではないかと想定し、分析を行う。

時期：2018年10月下旬に「教育フィールドワーク実践演習」の受講者及び協力者が各学校に直接お届けし、各クラスの担当教諭の方に実施・回収していただき、再び受講者及び協力者が取りにうかがった。

方法：自由記述法。A4用紙に以下の質問を示し、

* 日本女子大学人間社会学部教育学科4年生

** 日本女子大学人間社会学部教育学科3年生(平成30年度「教育フィールドワーク実践演習Ⅱ」受講者8名)

*** 日本女子大学教育学科教授

自由に回答してもらった。

質問：①学年 ②「あなたは将来結婚したいと思いますか。(3件法)」③「なぜ、そう思うのですか。」④「結婚するとしたらどのような相手を理想としますか。」

分析方法：生徒個人々の自由記述を熟読し、1ラベルに1つの内容が表現されるように作成し、ラベルの内容の相似性に着目して、分類名を付した。

3. 結果考察

【1】Q3 結果考察

(1) O 高校

O 高校のラベル数は 27 であった。全体として

「人間への成長」「両親に恩返ししたい」という思いへとつながっていた。

結婚したい理由についてはまず初めに「悲しみを紛らわせたい」「安心感を得たい」「幸せを感じたい」「楽しさを感じたい」などの「精神的豊かさを得たい」という考えが挙げられた。それが「1人でいたくない」「孤独死したくない」などの「誰かと一緒にいたい」という考えや、「好きな人と一緒にいたい」という考えに繋がる。そして「子供が欲しい」「幸せな家庭を築きたい」などの「家庭を築きたい」という考えに繋がる。さらにそれが「人間としての成長」「両親への恩返し」へと繋がっていった。

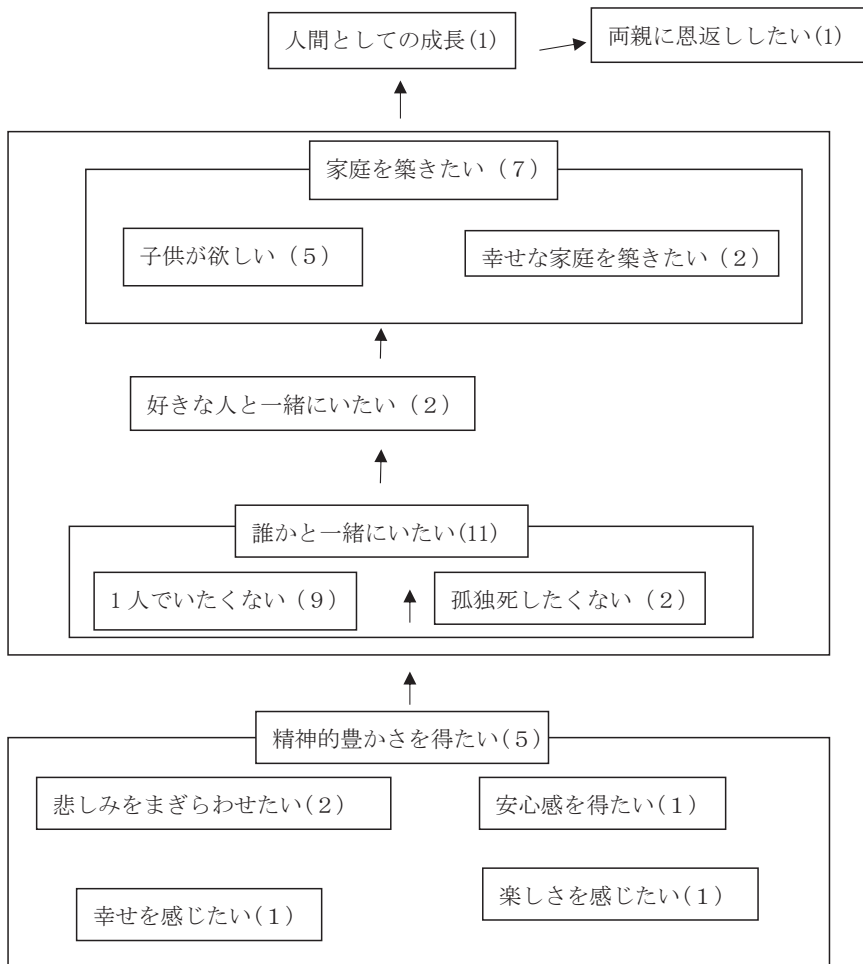


図-1 O 高校 Q3 あてはまる (元ラベル数：27)

(2) T 高校

T 高校のラベル数は 55 であった。結婚したい理由については「だいたいの方はみんな 1 度結婚している」や「優越感」などの「精神的豊かさを得たい」に繋がった。これが「孤独への不安」からくる「心の拠り所が欲しい」に繋がる。また、「支えとなる人が欲しい」や「他者への奉仕」からくる「誰かと一緒に居たい」という考えに繋がった。そして「漠然としたい」という考えに繋がり、「結婚への憧れ」や「家庭を持ちたい」へと繋がった。

れ」や「家庭を持ちたい」へと繋がった。

(3) N 高校

N 高校のラベル数は 40 であった。「した方がいいと思える」や「社会人としての信頼度が高まるから」などは「精神的豊かさを得たい」に繋がった。それが「将来への不安」や「1人でいたくない」などからくる「安定を求める」や「支えとなる人が欲しい」などの「誰かと一緒にいたい」に繋がった。

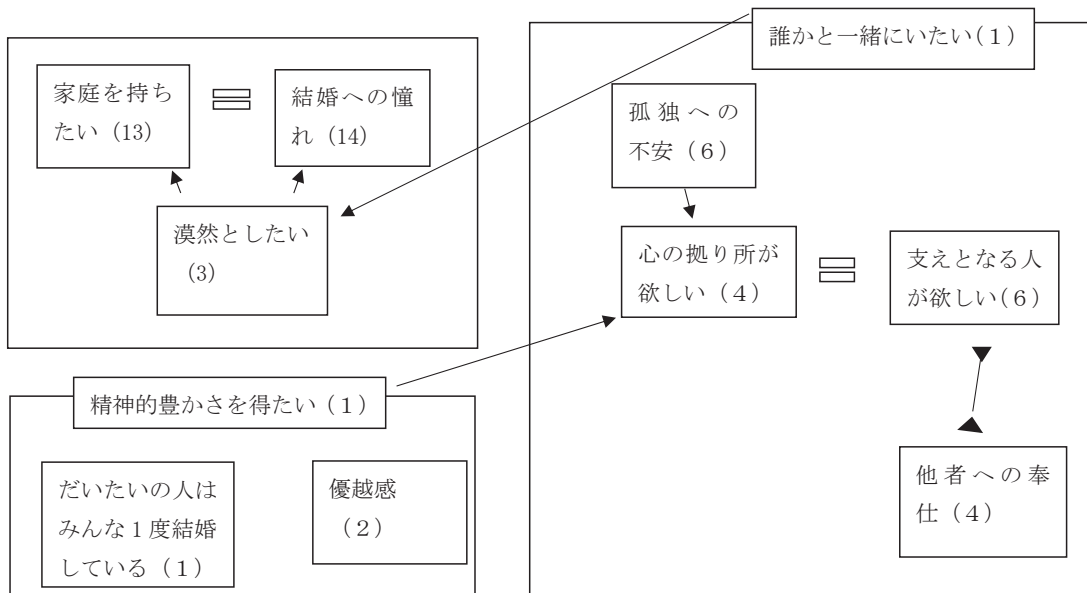


図-2 T 高校 Q3 あてはまる (元ラベル数: 55)

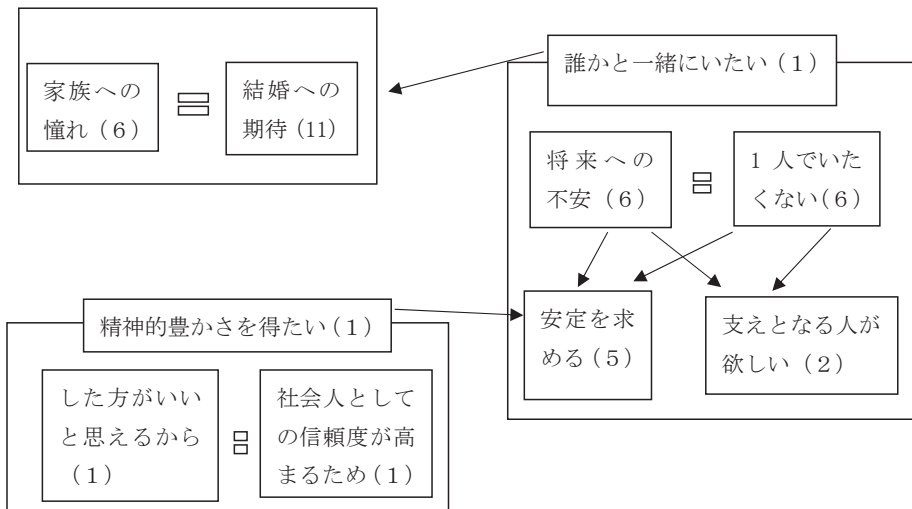


図-3 N 高校 Q3 あてはまる (元ラベル: 40 枚)

「誰かと一緒にいたい」ことから「結婚への期待」や「家族への憧れ」に繋がった。

【2】Q4 結果

(1) O 高校

O 高校のラベル数は71であった。全体として4つのカテゴリーに分類することが出来た。カテゴリーは【外見】【内面】【生活力】【その他】である。

2次元でラベルが多いものについて見ていく。【外見】では「顔がいい」「高身長」という回答が多かった。【内面】では価値観が合うが1番多く、2番目に「優しい」「家庭的」という回答が多かった。【生活力】では「安定した収入」「金持ち」という回答が多かった。

表-1 O 高校 Q 4 あてはまる (元ラベル数: 71)

三次元	二次元	一次元
外見	顔が良い	イケメン
		イケメン
		イケメン
		かっこいい
		イケメン
		かっこいい
		中島健人(のような人)
		顔はブス以外
	高身長	背が高い
		背が高い
		高身長
		自分より背が高い
		背が自分よりも高い
		背が高い
		身長が高い
		背が高い
	色黒	色黒
		色が黒い
	健康	運動神経が良い
		運動神経が良い
	笑顔がステキ	笑顔が可愛い人
		笑った時に目のシワができる人
	声	歌声がキレイ
		声がいい

内面	価値観が合う	価値観が合う人
		金銭感覚
		気が合う
		価値観が合う
	わかり合える	
	一途	自分を好きでいてくれる
		浮気をしない
		一生大事にしてくれる
	心から笑ってくれる人	心から笑ってくれる人
	わがままに答えてくれる人	なんでも言うことを聞いてくれる
		わがまますべて答えてくれる人
	優しい	優しさがある人
		やさしい
		やさしい
		優しい
	ユーモアがある	おもしろい
		面白い
		おもしろい
	心が広い	心が広い
	安心	暴力をふるわない人
暴力をふるわない		
家庭的	家族を大切にする人	
	家庭の事を考えてくれる	
	子どもが好きの人	
	子どもが大好きな人	
キレイ好き	キレイ好き	
常識がある	常識がある人	
	礼儀がある人	
	しっかりしている	
自立	自分のことを自分でできる人	
協力し合える	育児を私に押し付けない人	
性格が良い	いい人	
生活力	安定した収入	生活に十分な収入
		ある程度ちゃんとした仕事 お金を稼げる人
	金持ち	高収入
	高所得	
	経済力のある人	
	経済力がある	

その他	義理の両親が優しい	両親も優しい
		義理の両親が良い人
	自分の嫌いじゃない人	自分の嫌いじゃない人
	年上	年上
	タバコを吸わない人	タバコを吸わない人
	一目惚れじゃない人	一目惚れじゃない人
	だめなところをちゃんと怒ってくれる	だめな所をちゃんと怒ってくれる
	かわいい	かわいい
サッカー選手(J2のレギュラー以上)	サッカー選手(J2のレギュラー以上)	

(2) T高校

T高校のラベル数は101であった。全体として4つのカテゴリーに分類することができた。カテゴリーは【外見】【内面】【生活力】【その他】である。2次元でラベルが多いものについて見ていく。【外見】では「顔がいい」「高身長」の回答が多かった。【内面】では「ユーモアがある」「一途」「家庭的」の回答が多かった。【生活力】では、「安定した収入」という回答が一番多かった。

表-2 T高校 Q4 あてはまる(元ラベル数101)

三次元	二次元	一次元
外見	よい声	いい声
	健康	あまりお酒を飲まない
		健康
		運動神経のいい人
	笑顔が素敵	見るとこっちも笑顔になる
		笑顔がかわいい
	顔がよい	イケメンな男性
		イケメン
		顔がいい
		顔がよい
		それなりにいい顔をしている人
		顔も優しい
		優しくて
	イケメン	

		イケメンだったら働かなくてもいい
	ファッションセンスがある	ファッションセンスのいい人 欲を言えばメガネ
	高身長	自分より背が高い
		背が高い
		身長180センチ以上
		背が高くて
		背が高い(178センチくらい)
		年上高身長
	体型	細マッチョ
内面	一途	一途
		自分のことを大切にしてくれて
		自分のことを大切にしてくれる人
		自分のことを心の底から愛してくれる人
		一筋で単純なところもある
		私にうそをつかない人
		私のことを無視しない人
		そばにいられる人
		私のことをちゃんと見てくれる人
		女性との付き合いが少ない
安心		良いことも悪いことも言いあえる
		暴力をふるわない人
		自分が不安でも安心させる人
		一緒にいて安心できる人
仕事と家庭を無理せずに両立してくれる		仕事と家庭を無理せずに両立してくれる人
		問題があっても相談する人
価値観が合う		話や性格が合う人
趣味が合う		趣味が合う人
		しゅみが合う人
		自分の嫌いなものが似ている人
性格がいい		性格がいい
		性格が良い
協力し合える		協力し合える人
		苦しい状況になっても大丈夫な人

	思いやり	思いやりがある
		思いやりのある人
		情にあつい人
		親切で
		気配りができ
		他者を労わる人
	優しい	優しい
		優しい人
		やさしくて
		優しい
		やさしい
	話を聞いてくれる	はなしいっぱい聞いてくれる人
		自分の話をよく聞いてくれる人
	頭がいい	頭の良い男性
		勉強ができる
	冷静	けんかをしてしても冷静に話し合うことができる人
		おこらない
		すぐにおこらない人
	家庭的	子どもが好きな人
		子どもが好きな人
子どもが好きな人		
家事がある程度できる		
家庭的		
家族を一番に考えてくれる人		
干渉しない	干渉しない人	
	しつこくない人	
	自分の趣味を何でも許してくれる人	
ユーモアがある	おもしろい	
	おもしろい人	
	面白いことを言って	
	ふだんはすごく真じ目だけど、二人のときだけすごくおもしろい	
	場をなごませられる人	
	ユーモアがある人	
	あきない人	
	生活力	仕事に就いている人
働いている人		

	金持ち	金持ち
		金がある人
		経済的にも余裕がある人
	金銭感覚がしっかりしている	お金がしんちょう
		お金をためるのがうまい人
	常識がある	常識がある
		常識がある
	安定した収入	お給料がよくて
		収入が安定している
		安心して生活できる資産がある人
		収入が安定してて
		収入が安定してる人
		ある程度稼ぎがある人
安定してお金を稼げている		
職が安定している人		
安定な仕事もあって		
職業が安定している		
その他	ロマンチック	ロマンチックな人
	色々と考えてくれる	色々と考えてくれる人
	東京住み	東京住み
	いい友達がたくさんいる	いい友達もたくさんいる人
	目立ちすぎない	目立ちすぎない人
	初恋の相手	初愛の相手
	幼なじみ	幼なじみで
	自分の親と相手の親の相性がいい	自分の親と相手の親の相性がいい
性格で見ている人	性格で見ている人	

(3) N 高校

N 高校のラベル数は 64 であった。全体として 4 つのカテゴリに分類することができた。カテゴリは【外見】【内面】【生活力】【その他】である。二次元でラベルが多いものについて見ていく。【外見】では「顔がいい」という回答が一番多かった。【内面】では「一緒に居て楽な人」「優しい」「価値観が合う人」が多かった。【生活力】では「安定した収入」についての回答が多かった。

表-3 Q4 N高校 あてはまる (元ラベル数 64)

三次元	二次元	一次元
外見	顔がいい顔がいー顔が良い	格好いい人
		そこまでブスじゃない人
		イケメン
		イケメン
		それなりにカッコいい人
高身長	背が高い	
内面	一緒に居て楽な人	自分に合う相手
		趣味が同じ人
		一緒に笑ってくれる
		気を遣わなくていい人
		気を遣わなくてもいい人
		一緒に居て楽しい人
		一緒に居て楽な人
		ストレスでない
	優しい	暴力をふるわない人
		人思い
		相手のことを考える人
		優しくて
		優しい人
		優しくて
		優しい人
		優しい
		優しい
		優しい
		やさしくて
		優しくて
		優しい
		優しい
		優しい人
	やさしい人	
	優しく	
	優しい人	
	しっかりした人	責任感がある人
		頼りになる人
		だらしないくない人
		しっかりしていて
		しっかりした人
		しっかりとした人

	価値観が合う人	価値観が合う人	
		価値観が合う人	
		価値観が合う	
		価値観があい	
		価値観の合う人	
		常識に対する考えが同じ	
		自分のことを理解してくれる人	
		理解のある人	
		常識のある人	
		常識がある人	
	家庭的	家族を第1に考えてくれる人	
		結婚する前もした後も、家族に尽くしてくれる人	
		家族を大切に思う人	
生活力	安定した収入	お金の管理が出来る人	
		ちゃんと働いてくれる人	
		子供を育てられる財力のある人	
		お金がそれなりにあり	
		経済的な余裕があって	
		収入が安定して	
		経済力のある人	
		金持ちの人	
	家事	家事を手伝ってくれる人	
		家事が出来る人	
		その他	1人の時間も大切にしてくれる人
			家業を継いでくれる人
			タバコを吸わない人
			自分の思いを口に出来る人

【3】Q4 考察

どの学校も、三次元では【外見】【内面】【生活力】【その他】という4つのカテゴリーに分類することができた。二次元のラベルについて見ていく。【外見】では「顔がいい」が3校とも多かった。【内面】では、「優しい」は3校とも多く回答されていたが、他の二次元のカテゴリーには、ばらつきがあった。特に、T高校で一番多く回答された「一途」

が他の学校では回答されていなかった。また、学校によって二次元にカテゴリーされるラベルの数に違いがある。二次元で見ると、学校によって理想の結婚相手像に違いがあることが分かる。

4. 全体考察

【1】学校ごとの考察

今回の調査を通して得られた【Q.3】結婚したいと思う理由(KJ法)、【Q.4】結婚相手に求める条件(カテゴリー法)の結果を、各校の教育理念・方針と照らし合わせ、各校の回答の特色や、教育理念との関連性について考察していく。

(1) O 高校

- ・「良妻賢母」の教育
- ・「家庭を築き、社会と世界に貢献できる、知性と品位を兼ね備えた女性」の育成

結婚したいと思う理由については、「精神的豊かさを得たい」、「家庭を築きたい」の2つにまとめることが出来た。「家庭を築きたい」のラベルの中には「子どもが欲しい」という項目が多く、良妻賢母の教育という点では一致している部分がある。

(2) T 高校

- ・生徒の進路選択に合わせた教育や、創造性教育によって将来性の幅を広げる

結婚したいと思う理由について、他の二校には見られなかった「優越感」という項目の回答が見られた。結婚をすることによって得られる幸せや安心、経済的な安定を求めるのではなく、結婚をすることそれ自体に優越感を感じるという回答からは、漠然と“結婚してみたい”という一種の憧れのような気持ちも伺える。また、「だいたい人は一度は結婚している」という回答も併せて考察すると、結婚によって得られるものごと(幸せ・安心・経済的な安定)ではなく、結婚をすること自体を一種のステータスとして捉えている学生がいることが考えられる。

(3) N 高校

- ・人格教育
- ・自分たちで考え、学び、行動する

N高校の特色として「社会人としての信頼が高まる」、「した方がよいと思える」という回答が挙げられる。この回答から、T高校で得られた回答と同様に、結婚を一種のステータス(結婚をした方がよいと思える、結婚をすることで信頼が得られる)として捉えている学生がいることがわかった。

また、結婚相手に求める条件として、「家事が出来る人」という回答が特徴的であった。この回答は、自分たちで考え、学び、行動するという教育を受けてきたN高校の学生にとって、家事が出来る＝自立していることが結婚相手に求める条件として、教育理念と一致しているのではないかと考察した。

【2】全体の考察

【Q.3】結婚したい理由においては、主にポジティブな思い(結婚へのあこがれ、幸せな家庭を築きたい)からくる理由とネガティブな思い(一人で居たくない、孤独への不安)からくる理由があることがわかった。また、結婚することによって精神的な豊かさや安心感を得たい、という回答が大半を占める一方で、結婚することそのものをステータスとして考えている回答も見受けられた。

【Q.4】結婚相手に求める条件については、3校とも「外見」「内面」「生活力」「その他」という項目にカテゴリーすることが出来た。内面のラベル数がどの学校を見ても一番多く、外見よりも内面を重視していることがわかる。外見では「顔が良い」、内面では「優しい」のラベルが多かった。また、外見においては「顔が良い」「高身長」「運動神経が良い」など、抽象的な回答が多いのに対して、内面については「けんかをして冷静に話し合えることができる人」「良いことも悪いことも言いあえる」など、細かく記述されている回答が多く見られた。また、「初恋の相手」「幼馴染」などロマンチックな回答がある一方で、「自分の親と相手の親の相性がいい」「義理の両親が優しい」など、家族同士の付き合いという視点で結婚を捉えている回答もあり、結婚相手に求める条件は幅広いことが伺えた。

本調査では、女子高校生を対象に、理想の結婚相手についての条件を明らかにし、3校それぞれの教育理念や校風を踏まえて、理想とする結婚相手の条件の違いを明らかにすることを目的として調査を行った。理想の結婚相手についての条件は【Q.4】

の結果を通して明らかにすることが出来た。しかし、3校の教育理念や校風をふまえて、理想の結婚相手の条件の違いを明らかにするという点については、学校ごとに回答の特色や、部分的に教育理念と一致している回答は見られるものの、必ずしも教育理念や方針が回答に反映されているとは言えなかったことから、決定的な違いを明らかにすることは出来なかった。

5. 今後の課題

今回の研究では、東京都内・神奈川県内の女子高・高校一年生を対象としたが、男女共学の高校の女子生徒に調査を行って結果を比較した場合や、女子大学生の回答と結果を比較した場合には、新たな視点が得られるのではないかと考えた。また、今回はアンケート調査を行うことによって、結婚したい理由や結婚相手に求める条件を明らかにしたが、アンケート調査と併せてインタビュー調査などの質的な調査も行うことで、結婚観が形成された過程や背景についてもより深く迫ることができるのではないかと、という点も今後の課題となった。

